

第4回半導体講習会（講演会）

日時： 2022年12月14日（水）14:50～16:20（4限目）

会場： アクティブコモンズ（M号館）3階M303, 306

主催： 崇城大学工学部ナノサイエンス学科

講演者： 崇城大学特任教授

萩原 良昭 先生

講演題目： 半導体は「産業のコメ」です。それって、なあに??

講演概略： 世界最大級の半導体メーカーであるTSMCの熊本進出に伴い、九州全体で半導体人材の育成や確保が急務となっています。この状況に対応するために、今年度ナノサイエンス学科では草壁教授を中心として、半導体教育体系の確立を目的としたプロジェクトが立ち上がりました。その一環として、来る12月14日（水）に第4回半導体講習会を講演会形式で開催することとなりましたのでご案内いたします。



講師の萩原良昭先生は、ソニー時代の1975年に世界初の電子シャッター機能を持つ超光感度の半導体受光素子を発明開発し、半導体技術戦略室長 SONY Fellowなどを歴任されました。その後、2009年より本学情報学部の教授として教育・研究活動を行って来られ、現在は本学理事長付き特任教授として、本学に貢献しておられます。今回は、半導体基本構造、動作原理とその製造技術についてご説明いただくと共に、エンジニアを目指す学生に学んでもらいたいことについてご意見をいただきます。さらに、これまでのご経験に基づいて、「半導体がどうして今注目されているのか?」、などについてもご示唆頂く予定です。

多くの方のご来場をお待ちしております。